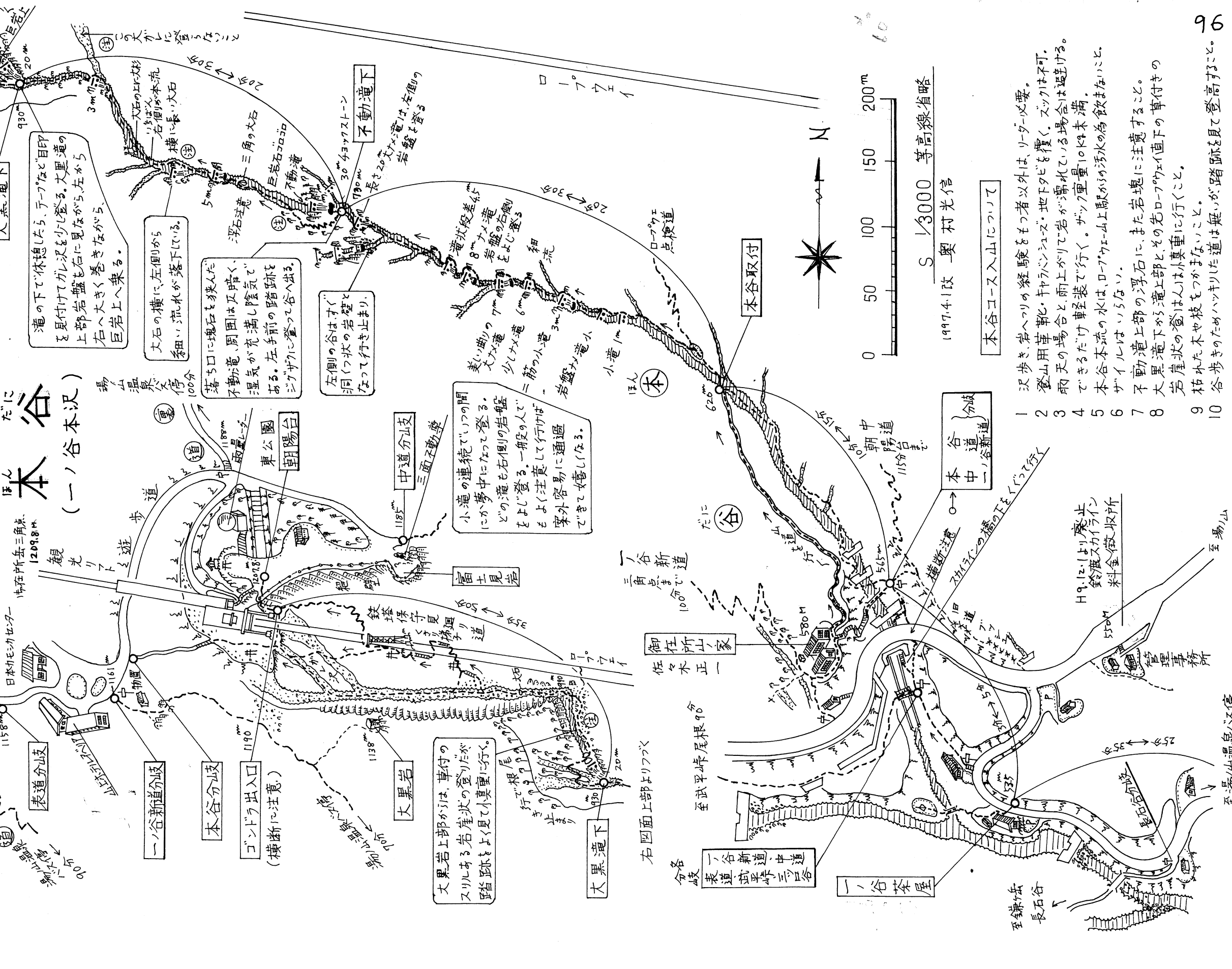


御在所岳

上部は左図下へフック



大黒滝の下で休憩したら、テープなど目印を見付けてガレ沢を少し登る。大黒滝の上部岩盤も右に見ながら、左から右へ大きく巻きながら、巨岩上へ乗る。

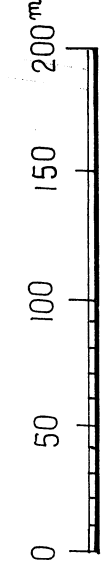
大石の横に、左側から細い流れが落下している。

落ち口に塊石も狭んだ不動滝、周囲は又暗く、湿気が充満し陰気である。左手前の踏跡をジグザグに登って谷へ出る。

左側の谷は、すい洞状の岩壁となっていて行き止まり。

小滝の連続で、いつの間にか夢中になって登る。どの滝も右側の岩盤をよじ登る。一般の人でもよく注意して行けば、案外容易に通過できて嬉しいなる。

右図上部よりフック



S 1/3000 等高線省略
1997.4.1改 奥村光信

本谷コース入山について

- 1 沢歩き、岩へつり経験をもつ者以外は、リッター必要。
- 2 登山用草靴、チャランシュズ、地下タビを履く。ズックは不可。
- 3 雨天の場合、雨上がりで岩が濡れている場合は避ける。
- 4 できるだけ軽装で行く。ザック重量10kg未満。
- 5 本谷本流の水は、ロープウェイ上駅が汚水の為飲まないこと。
- 6 ザイルは、いらない。
- 7 不動滝上部の浮石に、また岩塊に注意すること。
- 8 大黒滝下から滝上部と、その右ロープウェイ直下の草付きの岩崖状の登はんは、小真重に行くこと。
- 9 枯れた木や枝をつままないこと。
- 10 谷歩きのためハッキリした道は無いが踏跡を見て登高すること。